

特定非営利活動法人 みなみ区民利用施設協会 全体研修

平成24年7月17日(火)、みなみ区民利用施設協会職員を対象とする『全体研修』が行われました。
当日は100名を超える職員が、熱心に講演に耳を傾けました。



みなみ区民利用施設協会
後藤事務局長より挨拶

日 時：平成24年7月17日(火)
対象者：特定非営利活動法人
みなみ区民利用施設協会職員



司会進行
みなみ区民利用施設協会
谷本事務局員

人権研修

より公平で公正な社会に近づくため

講師：経営アドバイザー 会沢 芳一氏 (株式会社 横浜市食肉公社)

会沢講師による人権啓発の講演会です。
現在の社会にもさまざまな形で残る「差別」について
身近な事例を基に、わかりやすくお話して下さいました。

「もっている」つもりでも「もっていない」のが…思いやり
「もっていない」つもりでも「もっている」のが…思いあがり

「している」つもりでも「していない」のが…努力
「していない」つもりでも「している」のが…差別

気をつける」のではなく「気づくこと」が大切。
踏みつけたら、踏んだその足に気がつくこと。

本当に教養のある人とは、人の心のいたみがわかる人。



講 師：会沢 芳一 氏



《職員より、聴講の感想》抜粋

- 「差別的な感覚」というものは、普段自分の中にないものでした。今回のお話を聞いて、改めて 「差別される側でなく、差別する側に問題がある」ということを知り、その意識を忘れず、人に優しく接していきたいと思いました。
- 日々繰り返しの中で、つもり違いについて自分でも気づいていない事がたくさんあると気づかされました。
- 大変、心に深く届く言葉の数々でした。ユニークな語り口でお話に取り込まれ、楽しく聞くことができ、色々考えさせられました。
- 普段漠然とわかっていることを、又新たに心にうえつけられました。人としての基本だと思います。やさしそうで難しいことだと感じます。
- 偏見、責任感、ジレンマ等、人間の持つ、どうしようもない事と、自分自身はどう付き合えばいいのか。今日の人権のテーマと合わせて、掘り下げて追究したい。
- 何気ない一つの言葉で、相手に対して良いと思って発した言葉でも知らないうちに傷つけていたりする事があります。それが差別としてとらえられてしまう事もあるという事を教えられました。
いろいろな立場の人達が利用者として来館されます。
なかなかむずかしい事だと思いますが、平等な心を持って接していきたいと思います。
- 様々な家庭環境の子供が来館されるので、初心に戻って接遇したいと感じました。